



Christian Science Sentinel, August 10, 2009

## 祈りがペットを癒す

### Prayer heals pets

何年も前、私が子犬のロッキーを選んだとき、彼は、兄弟の子犬たちとじゃれあう、ころころした元気いっぱいの子犬でした。エネルギーあふれるその様子を見て、庭で飛び跳ね、近所を走り回る子犬を想像していました。ロッキーと猫のジャックを世話することが、自分に霊的真理を知る試練の場になろうとは、考えてもいませんでした。

ロッキーは、まだほんの子犬のとき、病気になって、食べることも、飲むこともできなくなりました。生涯、キリスト教科学を実践してきた私は、自分の癒しのために祈ることは学んでいましたが、ペットのためにどのように祈るか、自信がありませんでした。そこで、獣医に連れて行ったところ、ロッキーは、パルボ・ウィルスという感染症で、死ぬ可能性の高い犬の病気であると診断されました。この病気を治療する薬がないので、獣医は、ロッキーが助かる可能性は低いと言いました。病気が治るとしても、回復するまで、何日も、あるいは、何週間もかかるだろうということでした。それに加えて、ロッキーは、他の犬に感染しないように、病院で隔離されることになってしまいました。

頭をあげることも、しっぽを振ることもできないロッキーを、置いて帰らねばならず、私

*Author's Name // Helen Svermer*

他の日本語記事については、次をご覧ください: <http://www.spirituality.com/christiansciencesakigake/index.jhtml>

© 2010 The Christian Science Publishing Society (CSPS)  
この記事は、50部までプリントアウトして、非営利として実費で提供することができます。この記事を手紙 (email) で送ったり、ウェブサイトに載せたりすることはできません。代わりに、CSPSのウェブサイトに掲載されているこの記事へのリンクを、メールしたり、ウェブサイトに載せたりしてください。この記事を手紙に転載する許可を得るには、[copyright@cpsps.com](mailto:copyright@cpsps.com) 宛に、メールをお送りください。件名は、英語で "Copyright Request" としてください。



子犬のときから、神がロッキーの医師だったので、祈りを通して癒しを求めることを選びました。2日間、私は、ロッキーがトイレなどにゆくときは、体を運んでやりました。夜は、ロッキーに付き添って、私にとって、彼の存在がどれほど大切なものであるか、彼に話しつづけました。彼を完全にするのは、私の仕事ではない、神はもうすでに彼を完全にしているということを、自分に言い聞かせていました。神の特質を、彼が独特の方法で表すなかで、彼の完全さを見据えなければなりませんでした。私は、ロッキーが表現したたくさんの霊的特質に、感謝しました。ロッキーの優しさ、忠実さ（私の料理を無条件に喜んでくれたことは、言うまでもなく）を、とても大切に思っていると話しました。幸いなことに、犬として老齢であることを、ロッキー自身は知りませんでした。2～3日すると、ロッキーは自分で立てるようになりました。そして、1週間後には、足を引きずることなく、歩くことができるようになりました。

何ヶ月か経った今、ロッキーと私は、15年間楽しんできた散歩のコースに、戻っています。

もう一つの体験は、猫のジャックの足に大きな腫れ物ができたときのことです。私は、同じような霊的真理をこの時も適用して祈りましたが、ジャックの足がすぐに癒えないので、気を落としていました。ジャックは、よくあちこちを訪ねて回り、近所の家々で人気ものだったので、まわりの人々が心配していることも分かっていました。この問題を解決する必要があることは明確でした。

Author's Name // Helen Silvermer

私はジャックと座って、祈りながら、**神**の靈的創造として、ジャックは完全であることを確認していました。ジャックは、私をちょっと見つめて、またそっぽを向いてしまいました。彼のこの無関心な様子が、謙虚な考えを生み出す刺激となりました。ジャックは、私が干渉するまでもなく、**神**の愛に応えることができたのです。キリスト教科学の賛美歌のことばを思い出しました：「**神**は、**神**自身の言葉を通訳する、そして、**神**はそのメッセージを明解にする」( p. 399 )。この癒しがどのように進められるべきか考えるのは、私の仕事ではないということを悟りました。神性の**愛**の加護は、例外なくすべての生き物に、感じ取られ、明解にされるのです。

数時間後、ジャックが足をなめていることに気づきました。腫れ物のうみが流れ出て、足は正常な太さに戻っていました。そして間もなく、ジャックは、ドアのところに行って、いつものように近所を回る午後の散歩に出ようとしていました。今回も、私のペットは、**神**の完全で靈的な創造の一部として、**神**によって創造され、維持されていることを、私が理解した結果、癒されました。

米国、カンサス州、リーウッド

ヘレン・スティーバマー

Helen Stevermer

*Author's Name / Helen Stevermer*